

税務あれこれ⑮

決算書と融資について

Q. 先日弊社の決算が無事に終了しました。この決算書をもって銀行と融資の交渉をしようと考えています。月並みな質問ですが、どのような決算書になっていると銀行は喜んで融資を引き受けてくれるのでしょうか？

A.

1. 銀行員が先ず見るポイント

金融機関は決算書をもらうと単純に以下の部分を見ます。

- ① 貸借対照表 資本の部（純資産の部）がプラスになっているのか
⇒ 債務超過（マイナス）になっていないのか
- ② 損益計算書
税引後当期利益 + 減価償却費
⇒ キャッシュフローは良好なのか

頭の計算でこの数字が、銀行（金融機関）の希望している状況に該当するのかを判断します。

2. 次のステップ

上記の数字が良い数字が出ていても、他（親族のものは除く）から借りているものがないかを見て月にいくらの返済をしているのかに目を移していきます。

また、正確な財務分析も取り入れ総合的な指標を打ち出します。

3. 借りることができる範囲

中小企業が借りることの出来る主なものは以下の通りとなります。

- ① 日本政策金融公庫 無担保で2000万円まで
- ② 信用保証協会 通常は無担保で5000～8000万円まで
不景気などの特別な事情の場合は増える可能性がある
- ③ 銀行プロパー
銀行が独自に貸出するもので、決算書次第ですが金利が低いものなど貸出の範囲は広い



銀行の納得する決算書を目指しましょう

税務レポート 2011.9.1号

税理士法人CFTパートナーズ

〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-4-8 フクエイビル 6階

TEL : 06-6228-3345 FAX : 06-6228-3346

E-mail : mail@cft-partners.jp http://www.cft-partners.jp